

# 未来貢献学 2020- II [GLI Strategy]

2020年03月28日

未来貢献塾 GLI

## 未来貢献学 II [GLI Strategy]の目的

あらゆる世界の事象や学問を古今東西・他分野横断的に観察し、「草の根レベルの生き方改革」を実践するための、より良い生き方戦略・戦略的思考を提案するものである。そして、これは、随時アップデートされ得る可変的なものであり、誰かに思想・行動を強要・強制するものではない。

### 【Key1:Common 共通事項】

#### 1 Common Condition : Keep Changing

我々の共通条件は“変化の継続”が前提にあること。

#### 2 Common Thesis : Positive Sustainability

共通命題は（変化の継続のための）良き持続可能性である。

#### 3 Common Mission : IRSA の拡大

共通命題（Positive Sustainability）を達成するための使命として、IRSA「改善可能性（Improvability）+更新可能性（Renewability）+選択多様性（Selectivity）+選択可能性（Accessibility）」の拡大に値するか？そこに貢献できているか？が行動の価値基準となり得る。

#### 4 Common Situation :

共通の現状は、Glocal VUCA[地球全体の中でのローカル感覚で可変性の高い世界]を生きている。

#### 5 Common Better Future : Expanded IRSA for Positive Sustainability

我々の語るより良い未来とは、IRSA の拡大により良き持続可能性が増す社会のことである。

#### 6 Common Individual Value: Optimum Growth（時事最適な成長）

共通の個々の目指す価値基準は、時事最適な成長であるかどうかである。

[Keep Changing + Positive Sustainability = Change + Better + Optimum = Optimum Growth]

#### 7 Update Better Common Sense

概念や常識は社会の状況とともに更新され続けるし、それは個人によっても行われる。

### 【Key2: Japanese 日本人】

#### 1 Japanese Uniqueness

日本の過去を見つめ続け、世界の中の日本を見つめ、独自の強みを未来に残す。

#### 2 Japanese Original Strength

近代以前に通底していた「両義的・融和的・多様」の実践は未来への遺産である。

#### 3 Japanese Sustainable Growth : JSG

独自の日本的な持続可能な成長を創る必要性がある。

#### 4 Sense of Japanese

グローバルな世界の中で、日本人として立ち振る舞う感覚のために Japanese という感覚を持つ。

### 【Key3: Perception 世界の解釈】

#### 1 Entire View

物理的・意識的両側面において地球人・地球コミュニティ観のような One Earth View, Wholeness といった”全体観”は必須となる。

#### 2 Adaptation for Change-Speed

「不易と流行」から「変化の速度の違いへの適応」という前提へ。

#### 3 Technology-Based

社会の状況は、常にソフト・ハード両面の科学技術レベルに規定される。

#### 4 Betterment with Balance : BwB

世界は全体の“バランス性”を考慮しながら変化する。

#### 5 Narrative-Based

すべての価値は“ストーリーの語り方”で変わる。

#### 6 Physicality Expansion

進展する身体性の拡張は、ポジティブに大きく人間の未来を変える可能性を持つ。

#### 7 Not Material but Value to make Plus-Sum game

物質重視のゼロサムゲームから、価値重視のプラスサムゲームへ。

#### 8 Characteristic Digitalization

あらゆる生化学的データとともに人格はデータ化されていく。

#### 9 Leap or Exponentiation

成長や創造は、非連続的な跳躍的発現か、指数関数的発現による。

#### 10 From Deep Observation

変化する現実世界のすべてを深く観察し続けることからすべてが始まる。

#### 11 4-First[VMAG: Vision-First, Motivation-First, Action-First, Growth-First]

常にビジョンに立ち返り、自身のワクワクする感覚を優先し、行動を起こし続け、自己成長を喜ぶ。

#### 12 Focus on Controllable

コントロール可能なものを観る。

#### 13 Glocal Standard

世界観の広がりとともに、その世界観の大きさにふさわしい新たな世界観の価値基準の構築が必要である。

#### 14 Rethink Standard

時々刻々と変わる現状とともに、価値基準は常に再興し続けることが必要である。

#### 15 Sports Value as social tool

スポーツのような、時事最適な社会基盤の制度づくりの機能を最大限に活かす。

#### 16 No Problem

世界はあるがままであり、解釈により問題が発生するのである。

#### 17 Gradation for Change

未来貢献学2020

MIRAIKOKENJUKU2020

常に世界は「変化の順次移行の過程」にあることを念頭に置く。

18 Answer through How to be

自らの在り方によって、世界にに応じていくのが人生である。

19 Serendipity for Innovation

新たな価値創造は“未知の出会い”からの掛け合わせで起きる。

20 Co-Stance

“共”を前提にしたスタンスであることがすべての始まりとなる重要事項である。

21 Think of humanity and Social Function differently

「人間の機能＝感情・理性や学問・科学」「社会の機能＝制度や政経」を本質的に混乱させない。

22 Make Something Better

「ないものを得ようとする」ではなく、「あるものをより良くする」ことが個人的に善になり得る。

23 Bestism

最善主義：正解主義ではなくを最善を積み重ねていく主義の方が最終的に善である。

【Key4: Mindset 心の在り方】

1 2F2D

ネガティブ減退習慣：失敗-Failure,強要-Force,否定-Denial,分断-Divide

2 GARF

ポジティブ増進習慣：成長-Growth,承認-Acknowledgement,敬意 Respect, 未来貢献的振舞 Future-Oriented Reacting

3 Keep Learning and Growing

学び続け、成長し続けることが、最大の強みを創造する。

4 Joy of Learning

学ぶ喜びは、若者にとって、最大の武器である。

5 Best Practice is just challenging and doing.

最善の実践は試行錯誤そのものである。

6 Meaningful Perception

有意義な意味付けによる解釈の癖を持つ。

7 Control word and behavior for better yourself

日々より良い自分自身にアップデートしていくために、常に言葉を意識し、行動を管理すること。

8 Be Different

積極的に違うこと、異なることをする。

9 Dive and Leap

変化のために、勇気を持って新たな領域に踏み込んだり、高みに身を置くことも重要である。

10 Ambivalent-Inclusion

複眼的に両義性を包括していく感覚は重要である。

11 Decision makes no worry

決めてしまえば悩みは生まれない。

12 Character is the uncertain record by selection and behavior

人格・性格は、「選択と行動の履歴の総体として認識された不確定な実態」である。

### 13 Integrate and Update

増え続ける積み重なりの中で、技術により過去の知の核を集約しながら、学びをアップデートしていく。

### 14 Hope the best with preparing for the worst

最善を望みながら、最悪までのあらゆる可能性に適応できる準備をする。

### 15 Leverage for your future value

自己未来価値を高める先行投資を基盤に。

### 16 Focus on the Different.

差分に目を向け、新たな価値を生み出す。

### 17 Sacrifice into Belief

それに対する犠牲の大きさが決意・信心を左右する。

## 【Key5: Relationship 人間関係】

### 1 Unreasonable Respect

世界観の拡大に合わせて、理由なき“他者存在”への尊重・敬意が求められ続けている。

### 2 No Penetration

相互に決して侵害し合うことのない最適な距離感を保つ必要がある。

### 3 Non Taker

Energy Taker, Dream Killer, Past-Oriented Reactor は、周囲の Energy, Positivity と Possibility を削り取るため、意識的に距離を置き、互いへの敬意を侵害しない関係作りが必要である。

### 4 Accept or Intervene

受容か介入の選択によって、緊密な関係性を構築するのか、深入りしないのかを判断する必要がある。

### 5 Don't be Liar

常に最適なコミュニケーションは、「本音を語る」ことではなく「嘘をつかない」ことである。

### 6 Effect of Expectation

自己への期待、他者への期待がより良い未来を創る。

### 7 Between Credit and Trust

条件による信用と無条件による信頼を区別し、根本的に信頼できる関係づくりに努める。